

## 財政健全化判断比率など

市では毎年度、財政指標を算定しています。平成30年度の決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率は次のとおりで、早期健全化基準を下回っています。

	実質赤字	連結実質赤字	実質公債費	将来負担
平成30年度	—	—	7.3	48.9
	(13.07)	(18.07)	(25.0)	(350.0)
平成29年度	—	—	7.5	64.5
	(13.10)	(18.10)	(25.0)	(350.0)

※「—」は赤字額がないことを表しています。  
※下段（ ）書きは、早期健全化基準

### ■資金不足比率

資金不足となった会計（水道事業会計・公共下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計）はありません。

**早期健全化基準**…財政収支が不均衡な状況や財政状況が悪化した状況において、その財政の健全化を図るべき基準。4つの指標のうち1つでも基準以上になると「早期健全化団体」に指定されます。

**実質赤字比率**…地方公共団体の一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すもの。  
**連結実質赤字比率**…すべての会計の赤字や黒字を合算し、赤字の程度を指標化。全体としての財政運営の深刻度を示すもの。  
**実質公債費比率**…借入金（地方債）の返済額などの大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの。  
**将来負担比率**…借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの残高の程度を指標化。将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの。

## 市債の状況（現在高）

会計名	平成29年度末	平成30年度末
一般会計	242億5,060万円	233億7,757万円
水道事業	20億6,993万円	26億1,443万円
公共下水道事業	44億4,389万円	42億9,507万円
農業集落排水事業	20億9,192万円	19億8,216万円
一部事務組合分	75億3,827万円	69億9,666万円
合計	403億9,461万円	392億6,589万円

## 平成30年度

# 決算の概要

平成30年度の一般会計・特別会計・水道事業会計の決算が、市議会（第3回定例会）で認定されました。市の予算がどのように使われて、市の財政がどのような状況にあるかをお知らせします。

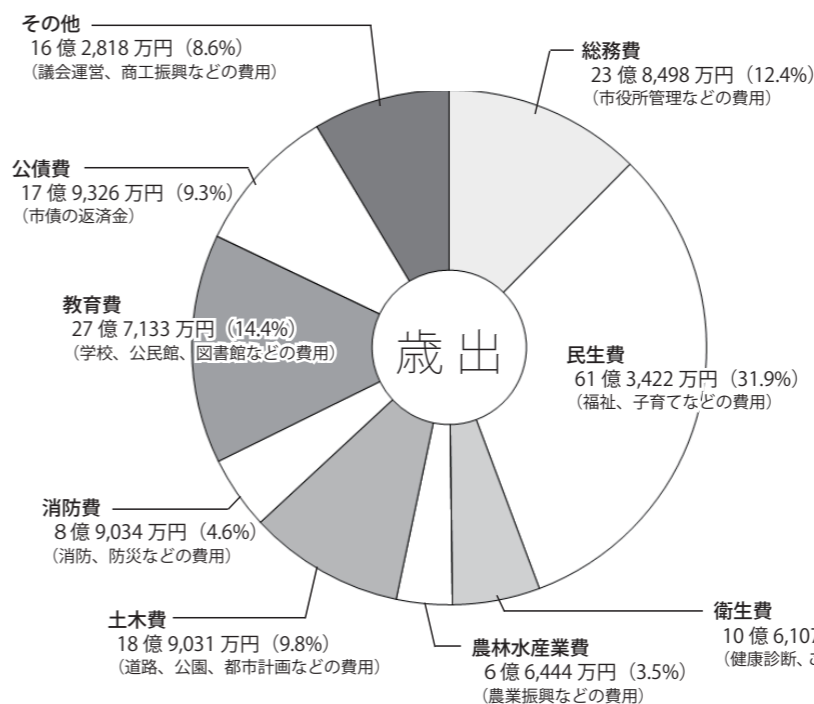
問 伊奈庁舎財政課 ☎58 - 2111（内線2204）

### ■歳入歳出の差引額 5億7,102万円

うち、次年度も継続して事業を実施するための財源  
[新守谷駅自由通路線整備負担金など] …9,218万円  
◎翌年度に繰り越す額…4億7,884万円

## 歳出 192億1,813万円

[前年比8.6%減]

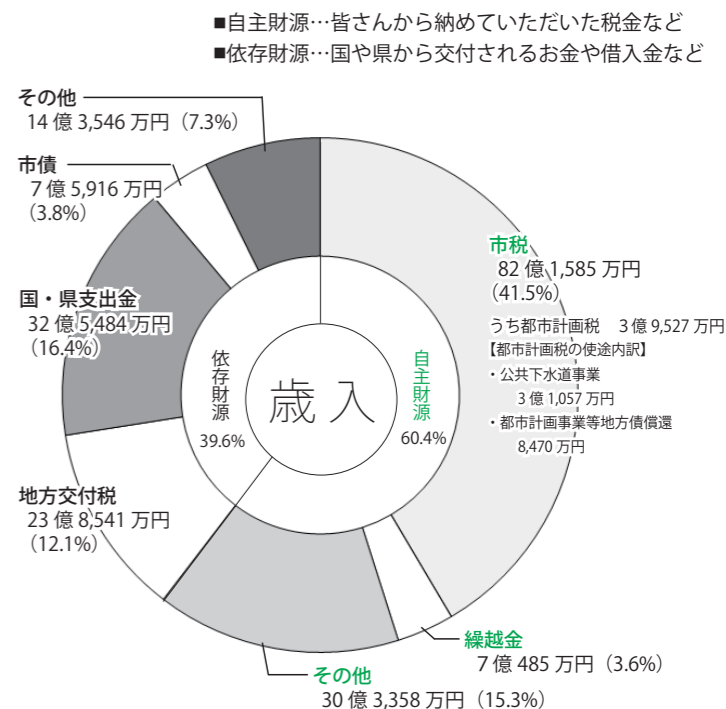


### ■平成30年度特別会計決算総括表

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	48億5,203万円	48億1,683万円
後期高齢者医療	4億8,836万円	4億8,810万円
介護保険	35億1,192万円	33億5,178万円
公共下水道事業	11億7,717万円	10億9,081万円
農業集落排水事業	3億3,603万円	3億2,434万円
市営分譲住宅	4,127万円	4,019万円

## 歳入 197億8,915万円

[前年比9.0%減]



### ■公営企業会計決算総括表

会計名	区分	決算額
水道事業	収益的収支	収入 15億3,483万円 支出 13億610万円
	資本的収支	収入 7億9,111万円 支出 14億631万円

水道事業会計は、公営企業会計です。「収益的収支（水道水を届けるために必要な経費と財源）」と「資本的収支（施設を整備するために必要な経費と財源）」の2つに分けています。資本的収支の不足分は、積立金などで補いました。

### ■一般会計

一般会計において、歳入で最も大きな割合を占めているものは市税で、決算額の41・5%を占めています。次いで国・県支出金、地方交付税の順となっています。歳出では、決算額が192億1813万円となりました。内訳は、福祉などの費用の民生費が31・9%を占めており、次いで教育費、総務費、土木費の順となっています。また、公債費（市債の返済金）が9・3%であり、前年度に比べ1・6%の増となっています。

## 市の家計簿チェック

つくばみらい市の平成30年度一般会計決算を、年間600万円（月50万円）の生活をしている家庭に例えて、1カ月分の家計簿を作ってみました。

30万2500円  
家族で稼いだお金など

### 毎月の収入

お父さんの給料（市税）	207,500円
お母さんのパート収入（使用料・手数料など）	66,500円
貯金引き出し（繰入金）	28,500円
実家からの援助（地方交付税・国庫支出金など）	178,500円
ローン借り入れ（市債）	19,000円
収入合計	500,000円

※わかりやすくするために1カ月分で作成しましたが、一般会計と対比するためには、年間収支での比較となります。

### 毎月の支出

食費（人件費）	74,500円
医療費（扶助費）	95,000円
光熱費・洋服代（物件費）	87,000円
車や家具の修理代（維持補修費）	2,500円
兄への仕送り（他会計への繰入金・補助費・貸付金など）	122,500円
家の増改築（投資的経費）	24,500円
ローン返済（公債費）	46,000円
貯金（積立金）	33,500円
支出合計	485,500円

◎翌月への繰越（収入・支出の差引） 14,500円

生活費 38万1500円

### 【市民1人の歳出額】

1人あたり 37万1,997円  
平成30年度の一般会計歳出額を平成31年3月末現在の人口5万1,662人で割ったおおよその金額です。

#### 農林水産業費 12,861円



農業振興などの費用

#### 衛生費 20,539円



健康診断、ごみ処理、放射能対策などの費用

#### 民生費 118,738円



福祉、子育て支援などの費用

#### 総務費 46,165円



市役所管理などの費用

#### 其他 31,516円



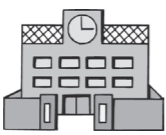
議会運営、商工振興などの費用

#### 公債費 34,711円



借入金（市債）の返済金

#### 教育費 53,643円



学校、公民館、図書館などの費用

#### 消防費 17,234円



消防、防災などの費用

#### 土木費 36,590円



道路、公園、都市計画などの費用